

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



日造協ニュース

2016.7月号
通巻 第508号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

2面 日本の外来種対策について

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室長 曽宮 和夫氏

樹木再生の取り組みについて フクラ緑化システム 福樂 善康氏

3面 日造協 平成28、29年度 委員会・部会等一覧

4面 【学会の目・眼・芽】「学会活動参加のすゝめ」

(公社)日本造園学会企画委員会幹事 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 水庭千鶴子

【ふるさと自慢】千葉県 南房総、季節の花に彩られる「房総フラワーライン」

浅海治行(株)常盤ガーデン

【緑滴】最後まで残った空海の道ウォーク 徳島県支部 関千秋(マルセー緑化建設有)

平成28年度 通常総会を開催 理事・監事37名を選任、藤巻会長を再任



臨時理事会で選任された藤巻会長(左)と副会長及び業務執行理事

日造協は6月22日(水)、東京都千代田区半蔵門のホテルグランドアーク半蔵門で、平成28年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、国土交通省からの情報提供をはじめ、各種表彰(2面)を行った。議事では、平成27年度決算報告、役員の選任の2議案を承認。総会ではこのほか、委員会の活動報告やと「重点活動2016決議」の採択を行った。また、臨時理事会では、会長、副会長、業務執行理事を互選し、藤巻会長を再任。そのほか当日は、講演会(2面)や意見交換会を開催するなど、関係者多数が参加した。

総会は冒頭、藤巻司郎会長があいさつ(別掲)に次いで、町田誠国土交通

(一社)日本造園建設業協会 役員(平成28、29年度)

会長

藤巻司郎 藤造園建設株代表取締役社長
副会長・業務執行理事

鬼頭慎一(株)双葉造園代表取締役
林輝幸 西武造園(株)取締役社長
和田新也 箱根植木(株)代表取締役社長
業務執行理事

卯之原昇(株)昭和造園代表取締役社長
正本大 みずえ緑地(株)代表取締役
山田拓広 花豊造園(株)代表取締役社長

理事

有木久和(一財)建設業振興基金専務理事
有路信(一財)公園財団副理事長

井内優(株)井内屋種苗園代表取締役
磯部久人 グリーン産業(株)常務取締役

宇坪啓造 北陸緑化(株)代表取締役会長
枝吉茂種(社)ランドスケープコンサルタント協会会長

奥本寛 日比谷アメニス常務取締役
加勢充晴 加勢造園(株)代表取締役会長

嘉屋幸浩(株)園建代表取締役
北総一朗 北造園(株)専務取締役

木上正貢 木上梅香園(株)代表取締役会長
久保和男(株)葉隠緑化建設代表取締役会長

古積昇(株)古積造園土木(株)代表取締役
小林和義(株)武田園代表取締役社長

小林正典(株)小林造園代表取締役
坂井隆(株)イビングリーンテック(株)代表取締役社長

執行英利(株)執行茂寿園代表取締役
田澤重幸(株)田澤園代表取締役社長

田丸敬三 東光園緑化(株)代表取締役社長
中嶋和敏(株)中嶋造園土木代表取締役

成家岳(株)富士植木代表取締役社長
西岸芳雄(一財)日本花普及センター専務理事

森茂(株)森造園代表取締役
森根清昭(有)海邦造園代表取締役

諸井道雄(株)諸井緑樹園代表取締役
山田忠雄(株)山梅代表取締役会長

米内吉榮(株)米内造園代表取締役
監事

北田功(株)植清園代表取締役
矢野幸吉(株)タイキ代表取締役

内山剛敏(株)内山緑地建設株代表取締役社長

省公園緑地・景観課長から「公園緑地・景観行政をめぐる最近の動向」について情報提供をいただき、その後、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精勵表彰、感謝状として、57名の方々に表彰状の授与を行った。

議事では、「平成27年度決算報告」、「役員選任」の2議案を審議・承認。平成27年度事業報告、平成28年度事業計画等の報告、委員会・部会活動の報告も行われ、「重点活動2016決議」を採択、閉会した。

その後別室で臨時理事会を行い、会長に藤巻司郎氏、副会長・業務執行理事に鬼頭慎一氏、和田新也氏、林輝幸氏、業務執行理事に卯之原昇氏、正本大氏を再任、新たに山田拓広氏を選任した。そのほか、業務執行理事業務分担規程の改正、会員の入会、顧問・相談役の推薦について、審議、承認した。

当日はこのほか、平成29年3~6月開催の全国都市緑化よこはまフェアについて、山田康博神奈川県支部長、9~10月開催の全国都市緑化はちおうじフェアについて、田丸敬三東京都支部長が説明。新入会員の出席3社や賛助会員によるPRを実施し、木上正貢九州総支部長からは義援金のお礼が述べられた。

また、16時半からは講演会(2面)、18時から意見交換会を開催。意見交換会では、藤巻会長あいさつの後、多数のご来賓の方々に参加いただく中、自由民主党都市公園緑地対策特別委員長、都市公園緑地等整備促進議員連盟会長代行の今村雅弘衆議院議員、自由民主党国土・建設関係団体委員会副委員長の秋本真利衆議院議員、柳野良明国土交通省大臣官房審議官からご祝辞をいただき、伊藤英昌(一社)日本公園緑地協会会長が乾杯を発声、和やかな意見交換の場となった。

一般社団法人 日本造園建設業協会 会長
藤巻司郎



「人と自然が共生する緑豊かな社会の実現」に寄与できるよう担い手の育成などに取り組む

皆様には、日頃から協会運営にご協力、ご尽力をいただき、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。



冒頭に熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の一刻も早い復旧・復興を祈念する次第です。

この度の地震では、建物の半壊や壁の亀裂等の被害を受け、また不自由な日常生活や避難生活を余儀なくされた会員が多々おられます。その支援のため義援金の募集を会員各位に呼びかけましたところ、早速にたくさんの暖かいご厚志をお寄せいただきました。

私と鬼頭副会長、高梨常任顧問で、お見舞と激励のため、熊本県支部を訪問し、木上九州総支部長に義援金目録をお渡ししたことをご報告いたします。誠にありがとうございました。



熊本城の石垣の崩落現場や池の水位が下がった水前寺公園等にご案内いただき、佐藤熊本県支部長はじめ関係の皆様から、地震発生以降の状況や会員の被災状況を伺い、また甚大な被害を目の当たりにし、改めて地震災害の恐ろしさを肌で感じた次第です。熊本県支部の皆様には、大変お世話になりましたこと、厚く御礼を申し上げます。

表敬訪問した大西熊本市長からは、相当の期間を要する熊本城の石垣の復旧に対する支援要請が当協会にございました。当協会としてできることを精一杯行ってまいりたいと考えておりますので、ご協力ををお願いいたします。



ところで、私どもを取り巻く経営環境は、日造協として長年にわたって取組んできた要望・提言活動が実を結び、労務費単価の改善やダンピング対策の強化などが講じられるようになりました。また公共事業費の維持・確保も図られるようになります。様相が大きく変化したと感じております。

しかし、依然として不透明な将来的の事業見通しに加え、若手入職者の減少等の構造的な課題への対応が急務で、前途は楽観できない状況にあります。

社会的な要請である「人と自然が共生する緑豊かな社会の実現」に寄与できるよう、全国組織である日造協の果たす役割を發揮し、造園・緑化事業の拡大に向けた要望活動や「担い手の育成・確保行動計画」などに取り組んでいかなければなりません。

このような中、日造協活動の強化に向けて、皆様のご協力を得ながら「会員拡大プロジェクト」の推進に取組んでおります。昨年度は、新たな仲間として23社の正会員を迎えることができました。これもひとえに各総支部・支部のご努力の賜物と感謝申し上げます。引き続きのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



本日は議事に先立ち、造園建設業界の発展等に多大な功績をあげられた57名の方々を表彰させていただきます。受賞されます皆様の永年にわたるご労苦とご功績に対しまして敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。誠におめでとうございます。

(通常総会会長挨拶より抜粋)

補佐)

土地・建設産業局地籍整備課長補佐=秋山義典(四国地方整備局建政部都市・住宅整備課長)

四国地方整備局建政部都市・住宅整備課長=塙本文(国営昭和記念公園事務所調査設計課長)

独立行政法人都市再生機構都市再生部担当部長=新田敬師(大臣官房付)

船橋市建設局長=大石智弘(国営飛鳥歴史公園事務所長)

国営飛鳥歴史公園事務所長=松本浩(関東地方整備局建政部公園調整官)

関東地方整備局建政部公園調整官=山口亜希子((一財)公園財団公園管理運営研究所首席研究員)

2016アンタルヤ国際園芸博

視察ツアーパートナーモード

9月6日(火)~9月11日(日)の日程で、園芸博ジャパンデーに合わせ、会場やイズミールの古都の視察ツアーパートナーモードの参加者を募集中。詳細は日造協HPをご覧ください。

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確



日本の外来種対策について

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室長 曽宮 和夫 氏

日本には世界をはじめ、国内の他の地域など、いろいろなところから、いろいろな生きものが入ってきてています。

かつていなかった毒を持つセアカゴケグモは1990年代に入ってきたが、植物に入り込み、一緒に移動するなどして、現在は関西で普通に見られるクモになってしまいました。外来種問題には、日本から出て行ったものが海外で広がってしまったものもあり、クズやワカメ、コガネムシが代表的です。コガネムシは、ジャパニーズビートルと呼ばれ、大害虫になっています。

外来種が、なぜ問題なのかというと、人に害があったり、在来種に被害を与える、交雑したりするからで、栽培植物、園芸植物、造園緑化植物、漁業対象種など、人々の生活や文化に浸透、共存するなど、社会生活で積極的な役割を果してきたものもあり、すべての外来種が定

着侵略性を持つわけではありません。

生物多様性国家戦略2012-2020では、日本の生物多様性の危機の構造を①人間活動による生態系の破壊、種の減少・絶滅、②人間活動の縮小による影響、③人間によって持ち込まれたものによる危機、④地球環境の変化による危機の「4つの危機」とし、外来種は3番目です。

外来種対策については、2005年(平成17年)に外来生物法(特定外来生物)が施行され、その後何度も改正していますが、最近の動きとしては、2015年(平成27年)の「生態系被害防止外来種リスト」作成、「外来種被害防止行動計画」



策定の2つが大きな動きです。

先ほどいったように外来種すべてが悪いわけではなく、外来生物法で規制される特定外来生物は、明治以降に入って、色々な悪さをするものを特定外来生物として、飼育や運搬などを禁止しています。

また、生態系被害防止外来種リストは、法に基づく規制の対象ではなく、対策が必要なもの、管理が必要だが産業上重要なもの、予防が求められるものの大きく3つのカテゴリーに分けて、注意を喚起しています。造園緑化植物などについても、こうしたことを踏まえ、問題が起きないように注意して使っていただけた方がいいと思っています。

最近注意しているのは、クビアカツヤカミキリです。歳をとってきたサクラなどに入りやすく、6都府県でしか確認されていませんが、広がると全国の桜に被害が出そうです。

外来種被害防止行動計画は、いかに効率よく防除するかで、予防三原則「入れない、捨てない、拡げない」を掲げています。拡がってからの方が、何とかしなければ思いやすいですが、拡がる前の防除の方が効果的です。新たな特定外来生物は、7月指定をめどに、21種追加して131種類になる予定です。

昨年はホームページも改修し、見やすくなっています。ぜひ一度ご覧ください。



樹木再生の取り組みについて

フクラ緑化システム 福楽 善康 氏

部の星川清親教授に出会い、先生の理論を実際の現場で臨床してできたものが「フクラ緑化システム」です。平成9年に京都・仁和寺のマツで



樹勢回復を図り、これをきっかけにいろいろなところから声が掛かるようになりました。平成11年に東京に出てきました。

平成12年に特許を取得、平成26年には東京都公園協会賞、都市緑化功労国土交通大臣感謝状を受賞しました。

現在は、樹木再生一筋です。木は嘘をつかず正直で、悪いところがあれば見せてくれます。それがわかるようになったのは最近で、奥が深いです。この仕事の一番の喜びは、施主様からの「ありがとう」の笑顔です。今後も笑顔をいただけるよう木と向き合ってまいります。

2008年、マンションの建設設計で伐採されそうになったケヤキを守ろうと地域住民の署名運動で残った東京・西荻窪の樹齢200年を越える通称「トトロの木」は、坂の上のけやき公園として親しまれ、多くの人が利用し、逆に根が傷み、2015年春、葉の出が遅く、不均等という異常な状態になってしまいました。

そこで、私に依頼があり、樹勢回復を行いましたが、今回ご覧いただくビデオはその模様を記録したものです。

土壤改良剤を希釈し、根元にいくつもの穴を開け、注入しました。施術した2015年6~8月で、効果はその秋に出はじめ、見事に紅葉しました。今日、この話をするので、昨日、ようすを見に行つたところ、すっかり元気になり、そこに憩う人が大勢いらっしゃいました。

そもそもは、鳥取県で、味噌や醤油、肥料の製造販売を行う福楽商店の4代目として、やってきました。

肥料について考える中、東北大学農学

「重点活動2016決議」

造園建設業に携わる私たちは、これまで長年にわたって培ってきた造園力をもって、大震災の被災地での緑の再生による復興支援や安全・安心で活力ある国土・都市・地域づくりの基盤となる豊かな緑の創出・育成に取組むとともに、地球温暖化や生物多様性などの環境問題に果敢に取組み、次世代に誇れる活力ある日本、人と自然が共生する持続可能なやかな社会の形成に寄与する役割を果たさねばなりません。

については、平成28年度通常総会にあたり、造園建設業の持続的な発展と緑豊かな安全・快適で美しい持続可能な社会の実現に向けて、「造園力!いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」のスローガンのもと、以下に掲げる事項に会員一同が一致団結して重点的に取組むことを、ここに決議する。

一、次代の造園建設業を担う人材の育成・確保の推進

- 担い手の育成・確保：国家資格・日造協資格等の取得促進、女性の登用
- 経営者の育成：地域リーダーズ活動の支援
- 若手入職希望者へのアピール：全国造園デザインコンクール

一、安心して働くことのできる環境整備の促進

- ダンピング受注の排除：適正な価格による受注の徹底
- 賃金水準の向上：技能労働者の労務単価の改善
- 社会保険等の加入徹底：法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用
- 労働災害の防止：労働安全衛生管理の徹底
- 労働環境の改善：不規則長時間労働の解消、週休2日制の実現

一、造園力の発揮・拡大体制の強化

- 適切な施工実施体制：施工体制台帳の作成・提出等の周知
- 防災・災害対応体制：防災協定の締結促進
- 緑の再生等支援体制：東日本大震災復興事業等への支援
- 要望・提言活動体制：日造協資格制度の活用、造園発注の促進の要請
- 造園技術の向上体制：新たな課題の調査研究、造園技術情報の共有化
- 日造協組織運営体制：会員拡大プロジェクトの推進

以上、私たちは、法令遵守はもとより企業倫理や社会規範に沿った事業運営を通じて企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、日造協活動に取り組みます。

協会表彰57名を讃える

造園建設功労賞 (13名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	廣澤清隆	66	株道南レミック
東北	山形	志村高秀	65	内外緑化株
関東・甲信	千葉	櫻田俊雄	64	株共楽園緑化土木
東京	吉村長泰	64	株吉村造園	
神奈川	増田一志	63	アライグリーン(株)	
北陸	新潟	鈴木重壹	65	株鈴木造園
中部	三重	水谷春海	61	株水谷造園
近畿	大阪	矢野幸吉	68	株タイキ
奈良	今西康彰	60	株郡山共同園芸	
四国	香川	北谷賢治	69	有大成造園
九州	大分	小野尊康	58	株ランドスケープ別大
宮崎	徳地信一	57	株橋緑地建設	
沖縄	沖縄	永島昌和	64	有桂植木

勤続精励表彰 (9名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
関東・甲信	神奈川	田中富男	75	株みやした園芸
北陸	石川	大和 武	41	株細川造園
近畿	福井	岡崎一誠	43	有大村造園
中国	山口	河井次彦	55	株多々良造園
広島	片桐 敬	68	株芸北造園土木	
四国	高知	山中理史	57	株庭園センター
九州	福岡	中島秀治	55	株涼華園
長崎	中溝 章	74	株中溝緑化建設	
熊本	東 真次	48	株皆楽園	

感謝状 (4名)

総支部	支部	氏名	所属
四国	徳島	手塚里香	徳島県支部事務局
本部	本部	本間博文	本部事務局
〃	〃	横石ひとみ	本部事務局
〃	〃	清水謙治	本部事務局

業績表彰 (31名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	米山浩史	63	横浜植木株北海道支店
〃	〃	高瀬勝彦	53	高瀬環境緑化株
東北	青森	三浦芳保	56	有三浦造園
〃	山形	小川行雄	68	株小川緑化土木
関東・甲信	茨城	下田 章	60	株水庭農園
〃	〃	片岡孝夫	60	橋本造園土木株
〃	栃木	五月女和夫	68	有五月女造園
〃	群馬	澤口政之	58	株山梅
〃	埼玉	田中由晃	45	株田中造園
〃	〃	水野 泉	61	西山都市開発株
〃	〃	渡邊 章	57	株八廣園
〃	千葉	林 義広	50	株東松園
〃	〃	田邊繁樹	48	藤木園緑化土木株
〃	東京	久保田和彦	50	株日比谷アメニス
〃	〃	西田喜一郎	58	加勢造園株
〃	〃	中村良孝	66	株飛鳥
〃	神奈川	佐々木 伸	50	横浜植木株
〃	〃	岡部一郎	45	株東開造園土木
〃	山梨	久保田茂樹	57	株アセラ技建
北陸	富山	山口仁志	56	有山口造園
中部	岐阜	安田忠邦	53	グリーンワークス株
〃	静岡	森野順一	67	株愛樹園
近畿	滋賀	辻井博行	46	株辻井造園
〃	京都	加藤大貴	51	植彌加藤造園株
〃	兵庫	入谷芳郎	49	入谷緑化土木株
〃	和歌山	吉本忠生	56	株吉本園芸
〃	〃	高幣容子	51	株志野造園土木
〃	四国	田川一郎	57	南海造園土木株
九州	福岡	池尻豊樹	61	木下緑化建設株
〃	長崎	平塚智三	55	株春日緑化
〃	鹿児島	川崎賢作	71	株川崎植木

平成28年度の協会表彰は、造園建設功労賞13名、

業績表彰31名、勤続精励表彰9名のほか、感謝状4名の合わせて57名の方々を表彰、藤巻会長が表彰状と記念品の授与を行った。



業績表彰受賞者の方々



勤続精励表彰受賞者の方々



感謝状受賞者の方々

平成 28、29 年度 委員会・部会等一覧

日造協の平成 28、29 年度委員会・部会の構成は、日造協活動の実態に即し、より効果的に事業を行うため、「アクションプログラム推進等特別委員会」を「造園領域発展戦略委員会」とし、これまでの事業を継続するとともに、「戦略立案部会」や「担い手育成・確保推進部会」を設けたほか、「資格制度委員会」において、資格ごとに部会を設置するなど、別表の通り、新たな体制となりました。

総務委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 林 輝幸	・会務報告、事業計画 ・規約・規程等 ・総支部及び支部関連事項 ・財務管理 ・会費徴収	財政・運営部会	・総会運営 ・事業報告、事業計画案の立案 ・決算報告、収支予算の立案 ・情報共有・公開基準の立案	◎細井 俊宏 山崎 信幸 阪上清之介 佐藤 正幸 石渡 浩 田丸 敬三 北條 拓 藤巻 慎司
【副委員長】 高瀬 勝彦 中西 勝 細井 俊宏 鈴木 誠司 水庭 博 森川 昌紀 成家 岳		財政基盤強化部会	・会員要件拡大策の立案 ・収益増強具体化策の立案 ・入会促進具体化策の立案 ・会員サービス向上策の立案	◎鈴木 誠司 四宮 繁 田丸 敬三 井内 優 高須賀盛満 田舎 裕一 下地 浩之
【担当理事】 田丸 敬三		経営環境改善部会	・建設業関連法令制度 ・入札契約制度 ・経営合理化方策 ・業界の地位向上のための折衝	◎水庭 博 高木 俊之 有賀 光昭 鈴木 義人 田丸 敬三 田澤 重幸
【委員】 菊池 福道 山崎 信幸 岸 省悟 坂井 隆 菱川 清 濱田 善一 下湯 一弘 森根 清昭		社会保険未加入対策部会	・社会保険加入状況の調査 ・社会保険加入促進計画の推進 ・法定福利費内訳明示見積書の普及 ・社会保険未加入対策説明会の企画	◎森川 昌紀 長岡 健藏 高木 俊之 佐藤 善一 有賀 光昭 大場 淳一
		広報活動部会	・広報パンフレットの企画立案 ・HP の運営企画 ・日造協ニュースの編集 ・図書出版計画の立案 ・MN 等による情報提供・交換・共有の立案	◎成家 岳 水庭 博 田上 貴 中村 国雄 有賀 光昭 田丸 敬三 前杉 昌枝 矢部 真樹 岡田 茂樹 藤巻 慎司
		総務企画部会	・総務委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎林 輝幸 細井 俊宏 鈴木 誠司 水庭 博 森川 昌紀 成家 岳

技術委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 卯之原 昇	・造園技術・技能の研究開発 ・自然及び生活環境の整備技術	技術・技能部会	・技術、技能の継承企画、資料作成 ・品質管理、工程管理、工事仕様書、歩掛の検討 ・技術者評価システムの検討 ・緑地育成工事仕様書、歩掛の検討	◎松本 透 立山富士彦 渡邊 進 佐藤 英介 村岡 賢二 吉村 知泰
【副委員長】 石出慎一郎 永島 昌和 松本 透 荻野 淳司 中村 秀樹 伊藤 幸男		造園技術フォーラム部会	・造園技術フォーラムの開催企画 ・技術情報発信・共有化の企画立案 ・技術・技能研修の企画立案 ・技術書籍普及の企画立案	◎伊藤 幸男 大場 淳一 坂元 博明 石川 正典 岡本 秀一
【担当理事】 北 総一郎		技能五輪部会	・全国技能五輪大会運営参加	◎卯之原 昇 山村 正作 増田 博一 松田 武彦 松本 透 八木澤清隆 神谷 朝貞
【委員】 熊谷 雅人 渡邊 進 伊藤 志朗 水谷 春海 佐野 晋一 谷尾 寿嗣 山本 正聰 古賀 正		安全	・造園工事、管理の安全衛生管理ガイドライン企画、作成 ・事故発生状況の情報収集とまとめ ・造園工事特有の労働災害防止ガイドラインの作成、啓発ツールの定期的更新	◎荻野 淳司 山口 雄資 風間 啓秀 高田 和己 内田 卓弘
		調査・開発部会	・造園工事の合理的な施工に関する調査研究	◎中村 秀樹 立山富士彦 石井 匠志 内田 卓弘
		技術企画部会	・その他技術関連事項	◎伊藤 幸男 松本 透 卯之原 昇 荻野 淳司 中村 秀樹

倫理委員会

委員	所掌事務	調査・検討事項
【委員長】 有路 信		・会員企業による造園建設業の事業活動において生じた会員企業倫理要綱に定める違反行為等に関する事項
【委員】 有木 久和 西岸 芳雄		

事業委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 正本 大	・公益活動の戦略・企画の立案	造園フェスティバル推進部会	・全国造園フェスティバル企画立案 ・マスコミへの情報発信策の立案 ・魅力ある産業のアピール活動の企画立案	◎関根 武 坂井 丈浩 丸山 健一 室橋 賢史 桑原 宣基
【副委員長】 内山 晴芳 稻富 俊広 関根 武 山田 通明 森川 昌紀 鈴木 一彦	・研修・教育	全国造園デザインコンクール等推進部会	・全国造園デザインコンクール実施計画の立案 ・全国高等学校造園教育研究協議会等との連携強化の検討 ・インターンシップの企画立案	◎山田 通明 室橋 智 田口 英明 堤 明伸 坂戸 広三 上田 誠
【担当理事】 米内 吉榮		人材育成部会	・地域リーダーズ活動支援 ・造園 CPD 単位取得促進企画 ・経営者研修会企画 ・造園施工管理技術検定受験対策講習会企画立案 ・職長・安全衛生責任者講習の企画立案 ・本部・総支部・支部実施の資格試験・研修会・講演会開催情報の共有化推進企画	◎森川 昌紀 菊地 章博 桜井 裕一 荒井 一行 南 雅義 當内 匠
【委員】 佐々木一敏 佐久間 洋 丸山 晶己 上田 誠 藤本 篤靖 鶴田 忠嗣 田中 幸一	・造園緑化事業の拡大推進のための要望等	要望・提言活動部会	・国交省、環境省本省との意見交換会の開催企画 ・総支部・支部実施の地方整備局、地方環境事務所等への要望活動へのサポート企画 ・要望・提言活動の情報共有化推進企画 ・維持管理に関わる工事・業務の経営事項審査上の取扱いの改善要望案の立案	◎鈴木 一彦 佐々木創太 荻野 淳司 坂井 丈浩 関根 武 武井 大佐 藤巻 慎司
	・都市や地域の緑の再生と構築 ・その他事業関連事項	事業企画部会	・事業委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集 ・その他事業関連事項	◎鈴木 一彦 関根 武 山田 通明 森川 昌紀

国際委員会

委員	所掌事務	調査・検討事項
【委員長】 山田拓広	・国際交流及び協力事業	海外造園関連団体との交流企画 AIPH 活動・Green City 活動
【副委員長】 松本 朗、藤田良司	・国際園芸家協会 ・国際園芸博覧会	IFPRA、IFLA 活動との連携企画 海外プロジェクト情報の収集・情報発信 海外視察プログラムの企画
【担当理事】 和田新也	・その他国際交流	世界各国の街路樹の育成技術等情報の収集
【委員】 伊藤幸男、清水 達 関根 武、田丸 敬三 當内 匠、松村 一	・推進関連事項	

資格制度委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 鬼頭慎一	・資格の認定	街路樹剪定士制度部会	・街路樹剪定士制度の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎吉村 長泰 卯之原 昇 大場 淳一 大場 二郎 竹嶋 正寶 吉村 知泰
【副委員長】 高石 正弘 川津 潔 吉村 長泰 鈴木 義人 中村 秀樹	・資格の普及及び活用		・植栽基盤診断士制度の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎高石 正弘 山田 和司 石出慎一郎 松本 透 荻野 淳司
【担当理事】 奥本 寛	・植栽基盤診断士制度部会		・登録造園基幹技能者制度部会	◎鈴木 義人 桜井 裕一 片岡 成文
【委員】 吉田 英司 山村 正作 依田 忠 村上 大介 大島 健 多々良健司 植田 誠司 仲村 弘喜 大場 淳一 水庭 博 松本 透 荻野 淳司 森川 昌紀	・登録造園基幹技能者制度部会		・登録造園基幹技能者講習の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎中村 秀樹 立山富士彦 林 和人 鈴木 義人
	・その他資格関連事項	資格制度企画部会	・資格制度委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎鈴木 義人 吉村 長泰 高石 正弘 中村 秀樹

造園領域発展戦略委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 和田 新也	・アクションプログラムの推進	戦略立案部会	・日造協活動の成果・実績評価 ・今後の造園界の将来構想の企画 ・戦略的活動展開方向の立案 ・日本庭園文化の世界遺産等登録の検討 ・会員からの提案によるプロジェクトの企画・立案・推進	◎田丸 敬三 渡部 敦 田口 正典 寺崎 俊司 高石 正弘 木上 善貴 下地 浩之
【副委員長】 久郷 憲治 四宮 繁 酒井 一江 持田 正樹 田丸 敬三	・日造協の中長期施策の検討		・担い手育成・確保推進部会	◎四宮 繁 水庭 博 伊藤 幸男 山村 道明 森川 昌紀 鈴木 義人
【担当理事】 中嶋和敏				
【委員】 明石 廣美 斎藤 齊 川瀬 勝之 井内 優 古家 敏弘 久保 和則 下地 浩之 大場 啓壽 山田 康博	・女性活動推進部会		・工事現場における環境整備策の検討 ・女性の積極的な活用促進策の検討 ・女性就労促進行動計画の推進の検討	◎酒井一江 井上 優美 松戸 幸子 桑園ア希子 小山 京子 蛭田 佐智子 藤本加奈子 畠中雅理子 阪上恵保巳 佐々木 香 薄井 美弥 小林 亜純 吹上 笑美 佐々木智子 西山 藍
【顧問】 須磨佳津江 涌井 史郎				
	会員拡大プロジェクト推進部会		・会員拡大プロジェクトの企画・立案・推進	◎持田 正樹 松戸 克浩 森川 昌紀 藤巻 慎司 岩間紀久裕 久保 和則
	戦略企画部会		・戦略委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎田丸 敬三 四宮 繁 酒井 一江 持田 正樹

学会の目・眼・芽 第77回

「学会活動参加のすゝめ」

(公社)日本造園学会企画委員会幹事 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 水庭千鶴子

(公社)日本造園学会では、毎年5月に全国大会を開催しています。公開シンポジウムや企画展示、学生コンペ、研究発表、ミニフォーラムなどの各種イベントを数日にわたって開催しており、中でも公開シンポジウムの後援や企画展示の出展などで協会の多くの皆様にもご協力をいただいております。

今年は、長野県松本市の信州大学松本キャンパスにて5月27～29日に開催しました。松本城周辺の復元整備が始まろうとしている中、「文化財を核としたランドスケープ・プランニングと地域創生」を大会テーマとし、各地域から大勢の参加者を迎えた会となりました。この場をお借りして改めて協会の皆様、またご参加の皆様に御礼申し上げます。

他にも学会には地域ごとの支部(北海道・東北・関東・中部・関西・九州)があり、9～11月の間に、見学会や研究発表会、シンポジウムなど、それぞれの地域の特色を活かして支部大会を開催しております。

特に本年は、関西支部が設立50周年の記念大会となり、京都大学を会場として開催する予定(10月15～16日)です。関西支部は、支部の中でも先導的な取組みをしており、造園界の牽引役として活動しております。大きな節目となるこの支部大会に、是非多くの御関係者皆様の参加をお待ちしております。

他の支部大会についても、学会のホームページで随時お知らせをしております。これらの機会を通じ、新たな取組みや交流となることを切に願っております。

さらに、本年は隔年開催としている日中韓国際ランドスケープ専門家会議の開催の年で、まさに日本がホスト国となっており、東京大学および日比谷公園を会場として開催する予定(10月28～30日)で準備が進められております。

国際化が進んでいますが、実際の造園に関する現状や課題を知る機会はありません。是非この機会に、交流をしてみませんか。公開シンポジウムや展示会など、どなたでも参加可能です。

造園建設の役割は、常により良い環境創造という大きな目標に向かっておりますが、環境や社会情勢の変化とともに、役目もずいぶんと変わってきています。

これら変化に柔軟に対応するためにも、常に自然を学び、活かし、ともに生き、より良い空間創造のため、社会に大きく貢献することを胸に、私共も日々切磋琢磨しています。当学会へのご要望なども企画委員会幹事宛にいただければ幸いです。

今後もご指導お鞭撻をいただきながら、共に緑豊かな社会環境の実現をめざしていきたいと考えています。



最後まで残つた空海の道ウォーク

徳島県支部
マルセー緑化建設(有)関千秋

5月15日、最後まで残つた空海の道ウォークに参加しようと思ったのは、今から13年前に主人が日造協徳島県支部で、「へんろ道」の修復作業をしたので、一度どういうところなのか自分の足で歩いてみたかったからです。

修復した場所は、杉が生い茂り、1日中日が射さないところだったそうです。

当日は藤井寺からスタート、長戸庵、柳水庵、一本杉庵の空海像、焼山寺までの12.3km。わくわく楽しみに藤井寺へ。でも残念ながら私は歩くことが出来ず…。

実は4日前から体調を崩し、小学校の駐車場から藤井寺までは15分歩いて、スタートを待っている間に熱がでて、このまま歩くのは周りの人たちに迷惑をかけると思い、泣

く泣く棄権をしました。

友達に私のデジカメを渡し写真を撮ってもらうことにしましたが、後日どうしても、この目で修復した場所を見てみたいと思い、焼山寺から藤井寺へのへんろ道を途中まで歩いて下りました。

6月1日は少し肌寒かったけれど、歩くにはちょうどいいお天気でした。

13年前、どのあたりを直したのだと思いながら下りていると、焼山寺に向かって歩いているお遍路の人と逢い、今もこんなにたくさん的人に役立っているのは、素晴らしいことだと思いました。



癒しい っぱいの千葉県に是非お越しください。

浅海治行 (株)常盤ガーデン

華麗なステージやカビバラ親子たちが癒しと笑顔を与えてくれます

ふると
千葉県
自慢

千葉県は、首都圏の東側に位置し、四方を海と川に囲まれ、水緑豊かな自然に恵まれた冬暖かく夏涼しい海洋性の温な気候です。

南部の南房総地域には、約46kmの海岸線の道路が整備されており、日本の道100選に選ばれた「房総フラワーライン」が通っています。

その名の通り、季節の花々が道沿いを彩り、ヤシ並木もあり南国気分を一気に盛り上げてくれます。

周辺には、三浦半島最南端の剣崎灯台と共に東京湾へ出入りする船舶の目印である「洲崎灯台」、花の楽園「館山ファミリーパーク」、27ホールのシーサイドコース「館山カントリークラブ」、日本森林浴の森100選に指定されている「県立館山野鳥の森」、創始は2670年以上も前に遡り、日本の産業創始の神様をお祭りする「安房神社」、その房総南部の観光振興を図るための拠点で楽園ハワイをも彷彿する施設「アロハガーデンたてやま」があります。

全長300mの連続の温室があり、ドラゴンフルーツなどの珍しい南国フルーツが自然の姿で鑑賞することができます。

園内中央には、フラダンスショーが行われる国内最大規模のステージがあり、小動物園には、カピバラ親子をはじめカワウソやヒインコたちもフラ・タヒチアンダンサー同様に癒しと笑顔を与えてくれます。

隣接する道の駅では、温室育ったパイヤも販売しています。

「房総フラワーライン」

事務局の動き

【6月】

- 1(木)・第34回まちづくり月間～6/30
- 6(月)・国際委員会
- 7(火)・総務委員会(広報活動部会)
- 8(水)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
- 9(木)・技能五輪協議委員会
- 10(金)・登録造園基幹技能者講習会・試験委員会
- 12(日)・第27回全国「みどりの愛護」のつどい
- 14(火)・会長ほか熊本地震見舞・激励訪問～15
- 17(金)・街路樹剪定土認定委員会
- 22(水)・通常総会・臨時理事会・意見交換会
- 23(木)・地域リーダーズ勉強会

【7月】

- 1・平成28年度『全国安全週間』～7/7
見えますか?あなたのまわりの見えない危険、みんなで見つける安全管理

- 4(月)・技術委員会(技術・技能部会)
- 6(水)・登録造園基幹技能者講習委員会
- 7(木)・総務委員会(広報活動部会)
- 12(火)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
- 13(水)・造園領域発展戦略委員会(部会長等会議)
- 15(金)・事業委員会(企画部会)
- 19(火)・植栽基盤診断士認定委員会
- 21(木)・職長・安全衛生責任者教育講習会(千葉県)～7/22
- 26(火)・技術委員会(委員長・部会長会議)
- 28(木)・全国事務局連絡会議
- 29(金)・国交省と建専連との意見交換会

委員会等の活動

- 事業委員会(人材育成部会(全国造園デザインコンクール等推進部会))

日造協賛会員の紹介 ハスクバーナ・ゼノア(株) NETIS登録の実績! 広域での雑草刈りに活躍!

当社はチェンソー・刈払機・ヘッジトリマ・プロワや、ハンマナイフモア・チップ・パシュレッダといった農林・造園用緑化管理機器を販売しています。

この春、河川敷や広域での雑草刈りに活躍するハンマナイフモアZHM1550/1550RR(ダブルアール)を新発売。この新型は、刈幅1525mm。最大出力27.5kW(37.4ps)。オフロード法2014年規制対応エンジン採用で約8%燃費向上。切れ味がよく磨耗にも強い新ギザ刃を採用。

また、ZHM1550RR(ダブルアール)は前方への飛び石が大幅に削減される刈刃軸逆回転切り替え式ですが、今回更にオペレータ技量によらず刈跡がきれいで効率もよいフローティング機能も追加しました。ZHM1550RR(ダブルアール)



ル)は、国土交通省のNETISに登録されました(登録番号: KT-110038-V)。

資料請求・デモのお問い合わせは、電話: 049-243-3062 FAX: 049-243-3310、e-mail: info.hv@husqvarna.jp まで。URL <http://www.zenoah.co.jp/> YouTube動画配信中!

計画と学科試験・実技試験について検討した。(6/17)

●国際委員会
平成27年度の事業報告及び平成28年度の事業計画(トルコ・アンタリア国際園芸博覧会の対応・海外視察・キューケンホフ花取友好の庭改修)、今後の委員会活動について検討した。(6/6)

編集後記 新体制での広報部会がスタートしました。ベテランの大先輩や女性を含む頼りになる面々が新たに4名も加わり、これから更に賑やかな部会と本郷での夜になります。今期で卒業(?)の○○さんお疲れ様でした! 本郷で待ってます!!